

泉
基博編

十訓鈔

〔片仮名本〕 下

古典文庫

泉
基博編

十訓鈔

〔片仮名本〕
下

古
典
文
庫

古典文庫第三五九冊 ©

昭和五十一年九月二十日印刷発行

非売品

抄

編者 泉

基博

訓下

発行者 吉田 幸一

十

印刷者 白橋印刷所

発行所

114

東京都北区西ヶ原
三ノ三四ノ一二

古典文庫

電話(九一〇)二七一七
振替口座東京九・一四五九七番

十訓抄

△片仮名本▽下

宮内庁書陵部蔵

(十訓抄 中 ツヅキ)

第七可專思慮事

或人云、人ハ高キ賤キヲイハス、物ノ心ツカハ、ワカクヨリ主ニ仕テ
私ヲカヘリミ、家ヲオ(吉、ヒ)コシ身ヲ立ル道ヲヨク案シテ、何事ニ付テモ身
ヲ安クセス、箕裘業ヲ宗トシテ、其方ノ営ヲ相ハケムヘシ。愚ナル類
ヒ、オヤノアマヤカシ、メノトノモテナスニ随テ、イツトナクア(吉カ、ヒ)、ラ
ムスルト思テ、ナリタ、ムスエノ事モワキマヘヌ也。又親モアヒソヘ
テ愛子ニ咎ヤワスルラム、後ノ毒ヲカヘリミス、其子ヲ教ヘセ、カマ
ヌタニ不便ナルニ、セメテノ糸惜サノアマリニハ、人ノ報ハキタル物

ナレハカセクニヨラス。能モ無益也。今アルヤウモ有ナン。(吉「カクテ」)我アリテ
アラムカキリハ、ワヒシト思ハテ、オモフサマナレトサヘ荒涼ノ事ヲ
云シラセツレハ、サラヌタニ心ハアシキカタニヒク物ナレハ、ケニサ
リト思テ、イカ、手(吉「イト、」)ニモカ、ラス、ワルキ友達ヲカタラヒ、酒(吉「酒モリ」)ヲモリヲ
ノミコノミ、博奕ニ心ヲ入ル、程ニ、トリトコロナキ徒者ニオヒタツ
ナリ。是モ親モ子モ思ハカリナキヨリアル事也。カ、ルモノタマ／＼
宮仕ヲ思立トモ、サル振舞ヲスルウヘハ心ニ入ル主モナシ。仏神ハヒ
ロク衆生ヲ哀給ヘトモ、不信ノモノハ利生ニ預ル事スクナク、主人ハ
アマネクツカハレ人(吉「ソ」)ヲハク。メトモ、不用ノトモカラニハ恩願(吉「ソ」)ホトコ
シカタシ。然ハ大方ノ道理サル事ナレトモ、シタル所作モナクテソラ
ニ果報ヲ期セン事、大ニ不定ノハカラヒ也。カヤウノ事ヲ云モノハ心

ノイタリテ物クサク、性ノ極メテ不覺ナルカイタス所也。先アルヘカ
ラム振舞ヲ用意シテ、其上果報ヲ待ハ、流ニサヲサ、ムコトシ。(妙「かことし」)漸見

湿土泥、決定知近水トコソ法華經ニモトカレタレハ、營ムカタニ付
テ、様々ノ願望ヲミツヘキコト、見エタリ。乾燥ノ土ノ中ヨリ只一度
ニ水ヲ得事ハカタカルヘシ。自又無能不忠ノモノモヨキタメシモアレ
トモ、其ハ前生ノ宿善厚ニコタヘテ有様コソハ有ラメ。ウチマカセタ
ルナラヒトタノママ事、ウノマネスル鳥ニ似タリ。株ヲ守ル愚夫ニコ
トナラス。ヨコノ海ノ仙人ノ下界ノ人ニトモナヒ、水ノ江ノ浦島子カ
蓬萊へ行タリケン昔語ヲハ、ヨノツネノ事ト思フヘキニヤ。少ハ無ニ
処スルイハレナリ。属(妙「属」)顔回ハ賢者ナレトモ不幸ニシテハヤク死シ、盜跖
賊徒ナレトモ寿ヲモテヲヘケルハ、コトハリノ外ナレハ、(「タレハ」吉、妙、ナシ)タレハタレ

カナヘテ例ト信スヘキヤ。樂天書給ヘル事アリ。

去_レ者_ハ逍_シ遙_シ来_ル者_ハ死_ス。乃_チ知_ヌ禍_ハ福_ハ不_ニ天_一為_ニ。

是ハ秦ノ李斯等カ心ヲキラヒ、漢ノ園公等カフルマヒヲホメタル古調
四韻ノ内ノ落句也。カ、ルニ付テモ、三界唯一心也。心ノ外ニ別ノ法
ナカリケリト覺ユ。樂天又文殊ノ化身ナレハイカ、信_(直セ)□サラム。唯シ
イマタ来ラサラム報ヲイラ_レシク願ヒ求テ、聞イテ事ナトスヘカラ
ス。万ニ付テ能ク思ハカリヲメクラスヘキ也。

一河内国金剛寺トカヤ云山寺ニ侍ケル僧ノ、「松ノ葉ヲクフ人ハ五穀
ヲクハネトモクルシミナシ。ヨク、ヒオホセツレハ、仙人トモ成テ
トヒアリク」ト云人有ケルヲ聞テ、松ノ葉ヲ好ミクフ。誠ニクヒヤ
オホセタリケム、五穀ノ類食ノキテ、ヤウ_レ兩三年ニ成ニケル

ニ、ケニモ身モカルクナル心地シケレハ、弟子ナトニモ、「我ハ仙人ニナリナムトスルナリ」トツネハ云テ、イマ／＼トテウチ／＼ニテ身ヲ飛ナラヒケリ。「既ニ飛テノホリナン」ト云テ、坊モ何モ弟子共ニ分譲テ、「ノホリナハ仙衣ヲキヘシ」トテ、如形腰ニ物ヲヒトヘ巻テ出立ニ、「我身ニハ是ヨリ外ハ入ヘキ物ナシ」トテ、年来秘蔵シテ持タリケル水瓶ハカリヲ腰ニ付テ已ニ出ケリ。弟子・同朋、名残惜悲フ。聞及フ人遠近市ノコトクニ集テ、「仙ニ登人ミム」トテツトヒタリケルニ、此僧片山ノソハニサシ出タル巖ノ上ニ登ヌ。「一度ニ空ヘ登ナント思ヘトモ、近ク先遊テ事ノ様人々ニ見セタテマツラム」トテ、「彼巖ノ上ヨリ下ニ生タリケル松ノ枝ニギテ遊ハン」ト。云（吉「云」）テ、谷ヨリオヒアカリタル松ノ上四五丈斗有ケル

ヲ、サケサマニトフ。人々目ヲスマシカハレヲウカヘタルニ、イカ(音「アヘレ」)
、シツラン、心ヤ臆シタリケン、兼テ思ヒシヨリモ身重ク、カウキ(音「カ」)
／＼トシテヨハリニケレハ、飛ハツシテ谷ヘ落入ヌ。人々アサマシ
ク見トモ、コレホトノ事ナレハヤウアラム、定テ飛アカラムスラム
ト見ルホトニ、谷ノ底ノ巖ニアタリテ、水瓶モワレ、又我身モ散々
打損シテタ、死ニシタレハ、弟子(音「シヌレハ」)・眷属サハキヨリテ「イカニ」ト
問ヘト、イラヘモセス、僅ニ息ノカヨフハカリナリケレト、カウ
シテ坊ヘカキ入ツ。コ、ニアツマレル人ワラヒノ、シリテ帰リチリ
ヌ。サテ此僧アルニモアラヌヤウニテ病臥リ。トカクイフハカリナ
クテ、弟子モハツカシナカラアツカウ間(音「アツカフ」)、松ノ葉ハカリニテハ命イ
クヘクモミエネハ、年来イミシククヒノキタル五穀ヲモテ、サマ

くイタハリヤシナヘハ、命斗ハイケレトモ、足・手・腰モ打折テ起居モエセス、今ハ松ノハクフニモ及ス、本ノ如ク五穀ムサホリクヒテ、弟子共ニユ、シクユツリタリシ坊モ宝モ取返テ、カ、マリ居タリ。仙道ニ至ル人タヤスカラヌ事也。文集ニハ、賤モ金骨ノ相ナクハ、丹台ノ名ヲ期シカタシトコソ書レテ侍ナレ。只松ノハヲクヒナラヒタルハカリニテ、左右深キ谷ヘ向テ飛ケルコソ、ヨク思ハカリナケレ。但唐玄宗ノ宮ニ西王母ト云仙女マイリテ、仙桃ヲ七ツ奉レリケルヲ、「此種ヲ我宮ニウツサント思フ」トノ給ハセタリケレハ、王母ウチワラヒテ、「天上ノ菓、人間ニト、マリカタクヤ」ト申テ、ハカナケニ思ヒ奉リケリ。御門タニモカク愚ニオハシマシケレハ、マシテ此僧仙ヲ得リト思テ、未得謂得ノ心オサナカリケル

モコトハリナリ。

二延喜年中頃、美濃国イフキノ山ニ千手陀羅尼ノ持者住ケリ。二三十

日ナレトモ断食ニテ、驗得ノ方々^(吉「方ニ」)不思議多カリケル間、遠近ノ貴賤^(妙「議」)

集リ拝ケル時ニ、善宰相清行卿是ヲ聞ワタリテ、彼所ヘオハシテ此

僧ニ対面シテ物語シ給ケルカ、傍ノ人々ニ語云、「此人ハカク行徳ア

ルヤウナレトモ、無智ノ間終ニハ魔界ノタメニタフラカサルヘシ」

ト云テ歸リ給ニケリ。其後程ヘテ、或時ニ諸ノ天女紫雲ニ乗テ妓樂

ヲナシ、玉ノコシヲカサリ来^(吉「来テ」)、此僧ヲ迎取テ去ニケリ。見者幾ソ、

皆奇異ノ思ヲナシタリケルホトニ、四五日アリテ樵父ノ山ヘ入タリ

ケレハ、遙ニタカキ木ノ上ニ、蚊ノ鳴ヤウニテ人ノウメク声キコヘ

ケルヲ、怪ミテ人ニ告タリケレハ、近辺ノ住人集リテ是ヲ見ニ、人

ノヤウニハミナシタレトモ、輒ク可昇木ナラネハ、鷹ノスオロスモ
ノヲヤトヒテノホセタリケレハ、法師ヲ木ノスエニユヒツケタリ。
ヤウノニ支度ヲシテトキオロシタルヲ見ニ、此千手陀羅尼ノ持者
也ケリ。浅猿トモ愚ニテ、具シカヘリサマノアツカヒケレハ、命
ハカリハ生タリケレトモ、ホレノトシテ云カヒナカリケレハ、行
徳ホトコスニモ及ハス。是ハ彼僧ノス、メルコトニハアラス、天魔
ノ所為ナレトモ、愚ナルヨリヲコレル上、先ノ事ニ相似タル間注
ス。是等ハサテヲキツ。可然人ノ習トシテ、心ヲハカリ見ムタメ
ニ、何事ヲモアラハニ見セ知セス、心ヲマハシテツクリモ出シ、云
モセラレタラムヲ能々案シ廻シテ、不覺セヌヤウニ振舞ヘシ。万ニ
付テ用意深シテ、人ノアサムキタハカラム事ナトヲモ能々思慮スヘ

シ。其案ニオツマシキ也。

後三条院第一御子

三白河院ハ花サカリ雪ノ朝、必御ラムシテモテナサセオハシマシ

ケリ。或時雪ノ夜中ハカリヨリカキタレテ降ケレハ、上達部・殿上

人我サキニ参テ、見参ニ入ムト急キ参リアハレケリ。

右府生公武子下野氏御隨身敦季参

テミレハ、御車サシヨセテ人々深沓ハキテオリアヘリ。敦季思フヤ

ウ、雪ハ北ニ深ク積レハ、疑ナク北サマヘソ御幸ハナラムスラムト

思テ、小野皇太后宮へ時々参ケレハ、従者ヲ走セテ、「御幸ノステ

ニナリ候。定テ北サマヘソ候ハンスラム」ト申タリケレハ、宮ノ女

房ノ中ニ紅ノウスヤウキタルカ三人候ケルヲ、「其衣セナカヨリト

キワケテ三間ニ出セ」ト宮ノ仰事有ケルヲ、女房申ヤウ、「院入セ

オハシマシテ御覧アランニ見苦ク候ナン」ト申ケレハ、「雪御ラン

ム(吉センニ)セニ内へ入セ給事更ニアルマシ」ト仰事アリケレハ、トキテ三間ニ

二具ツ、出シタリケリ。程ナク御幸ナラセ給。「雪ハ北サマカ目出也。小野方へ」ト仰有ケレハ、殿上人・上達部ウチムレテツカフマツル。「皇太后宮ノ御方へ」ト仰アレハ、人々ツカフマツリテ、門外ニオリタチタリケレハ、御車ヲハカキハツシ門ヨリ引入テ、中門ニ御榻タテ、庭サマヲ御覧スルニ、寢殿ノ南面ニ紅ノ打出ヲ三間ニ出サレタリ。何ニカクハマウケラレタリケルソト御覧スルホトニ、ワラハノ十七八斗ナルカ、緑青ニ色トリタル折敷ニ、金ノ御サカツキスヘテ、コンルリノ御サラニ、銀テシタルハモチキヲモリタリ。葉ヲハ青ク色トリテ、今カタツカタハ同御サラニサクロヲモラレタル、右ノ手ニモチテ、左ノ手ニアフキサシテ、雪ノ上ニカサミナカ

クヒキチラシテハシヨリオリタルシモニ、同様ナルワラハ御テウシ
ニミキ入テ、又扇サシテツ、キテ庭ノ雪ニナラヒテ参テ、御車ノ前
ヨリマイラスレハ、御盃ヲトリテミキヲ入サセテ、スコシ聞食テ、
御盃ヲハヲシキニヲカセオハシマシヌレハ、フタリナカラハシノ上
ニ登ヌ。トハカリアルホトニ、モ・カラキヌキタル女房ノアフキサ
シタル、又橋ヨリオリテ参ル。イカニト思ヘハ、松ノ枝ニナニ、カ
錦ニツ、ミタル物ツケタルヲモチテ、庭ノ雪ノ上ニ袴フミチラシテ
御車へ参ル。時シモアハ雪カキタレフリテ物語ナトノヤウ也。彼ヲ
ノ、^(吉「尼」ノヒ)カキクラス野山ノ雪ヲトヨメルヲ思出ル人モ有ケリ。女房
御車へ参テ、モトノヤウニ帰リノホリヌレハ、院ノ御車引出マイラ
セテ、^(吉「ハナキソ」)帰ラセオハシマシヌ。雪ハ内ニテ御覽スルヤウハキソト宮仰